

「15の春プロジェクト」

目的

小学校及び中学校学習指導要領においては、小学校と中学校の「学校段階間の接続」、幼児期の教育と義務教育9年間の接続を円滑に行うことの重要性が示されている。本中学校区では、従来の小中学校の体制から「南小学校」に「みなみこども園」を設置し、同一地域内でこども園・小学校・中学校の連携を双方向に図ることで、子どもの「学び」と「育ち」を中心に置いた取組を推進するなど、松阪モデルの構築を図る。

取組

- ・学校運営協議会を核とした学校・家庭・地域の協働体制の確立
- ・中学校区の教育目標・めざす子ども像の設定
- ・「南（みなみ）プロジェクト」「大江プロジェクト」の推進
- ・園・小・中を一貫した英語教育の推進
(中学校教員によるこども園・小学校への乗り入れ授業等の実施)
- ・教育応援基金「未来ポッケ」の実施
- ・日本語検定・英語検定等の実施
- ・架け橋プログラムの推進



期待できる効果

- ・家庭・地域の一体的な支援
- ・小学校入学（小1プロブレム）・中学校入学（中1ギャップ）への対応
- ・配慮が必要な子どもの対応
- ・系統的な取組の推進
- ・自己有用感・自己肯定感を育む
- ・教職員間の情報共有・連携
- ・園児・児童・生徒の相互理解が進む



15年間の連続した学びの充実による、今求められる資質・能力の育成

めざす学校教育目標：『愛する郷土に学び、未来を切り拓く子の育成』

みなみこども園

南小学校

大江中学校

遊びを通した「学び」

架け橋プログラム

小中連携教育

探究学習：「南（みなみ）プロジェクト」「大江プロジェクト」・英語教育の推進

異学年交流・合同授業・合同行事（運動会・学習発表会）の実施・乗り入れ授業

- 主体的に判断できる力
- 多様な人々と協働していくことができる力
- 新たな価値を創造する力・新たな問題を発見し解決できる力

園小合同行事

異校種間連携

合同運動会

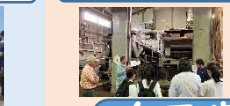
大江プロジェクト

中学生が授業

小中交流会

乗り入れ授業

合同学習発表会



※就学前から英語に親しむ

※就学前に生活科学習

自己肯定感・
自己有用感

※中学生が先生に

- <幼児期の終わりにまでに育てほしい10の姿>
- (1) 健康な心と体
 - (2) 自立心
 - (3) 協同性
 - (4) 道徳性・規範意識の芽生え
 - (5) 社会生活との関わり
 - (6) 思考力の芽生え
 - (7) 自然との関わり・生命尊重
 - (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
 - (9) 言葉による伝え合い
 - (10) 豊かな感性と表現

【知識及び技能】

何を理解しているか、
何ができるか。

【学びに向かう力・人間性等】

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

【思考力・判断力・表現力等】

理解していること・できることを
どう使うか。

※園・小・中
教職員間の連携

大江中学校区学校運営協議会・大江中学校PTA・南小学校PTA・みなみこども園PTA・地域住民等

遊びを通した学習・南プロジェクト・大江プロジェクト・園及び学校教育活動等への参画

15年間の学びを支える体制づくり

幼児期

小学校

中学校

中学校卒業

未来を切り拓く力